

## 地学展示ホールリニューアル、常設展に恐竜登場！

北川 博道



「埼玉の恐竜時代」に常設展示されたガリミムス全身骨格（レプリカ）

### 33年ぶりの展示変更！？

昨年12月、開館以来となる常設展地学展示ホールの展示リニューアルを行いました。開館から33年、常設展のうち、地学展示ホールは一部展示標本の入れ替えや展示物の拡充などはおこなってきましたが、今回の展示改修では新しく「第四紀化石」コーナーを新設したほか、「埼玉の恐竜時代」コーナーを拡充。当館初となる恐竜全身骨格を新たに展示しました。さらに「秩父鉦山」コーナーも展示標本を一新。展示手法も新たに、より見やすくなりました。

### 地学展示ホールに疾走するガリミムス

「埼玉の恐竜時代」コーナーに新たに展示された恐竜の全身骨格はガリミムスという後期白亜紀のアジアに生きていた恐竜で、主にモンゴルから化石がみつかっています。小鹿野町から



ガリミムスの組み立て、腕の溶接

長野県の佐久地方まで帯状に、山中層群とよばれる白亜紀の地層があるのですが、この地層から1981年、サンチュウリュウとよばれる恐竜の化石が発見されました。当時はガリミムスの化石と考えられており、現在ではガリミムスの仲